

2024年11月

群馬大学工業会愛知・岐阜支部2024年度工場見学会

1. 見学先 ジャパンマリンユナイテッド(JMU)株式会社津事業所
2. 日時 2024年11月20日(水) 13:00~14:30
3. 参加者18名

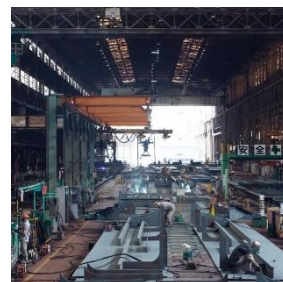
2024年度の秋の工場見学会はジャパンマリンユナイテッド津事業所を訪ねた。

見学受け入れが、貸切バスでの訪問が条件だったので、マイクロバスを調達して、名古屋駅近くに集合して、10:30に出発した。三重支部他の4人は現地で合流した。

JMUCでは、会社の説明のプレゼンを受けた後、マイクロバスで約1時間工場を回りながら、見学した。



同社は大型商船、艦船、海洋エンジニアリング、船のライフサイクル事業を手掛け、当地津事業所では主として石油を積載するタンカー、石炭・鉱石を積載するバラ積み船を建造する。敷地面積は747,800 m²、2つのドック



(建造・修理)、4つの岸壁を有し、700tをはじめとする大型門型クレーンが8基並ぶ。

ここに約2,000名が従事し、造ることはできても日本の港には寄港できない世界最大級24,000tのコンテナ船(全長400m)も建造できる。

製造過程は、船内をブロックに分割して建造し溶接にて接続するが、1つのブロックはビルほどの大きさがあり、想像を遙かに超える規模の建造物は感動を覚えた。

運航するためのエンジンも桁外れで、直径1m・ストローク2mのピストンが8基搭載され毎分60回転で動作するとのこと。自動車とは別世界の代物である。



後列左から:木暮邦彦、倉林弘行、二宗光文、松永恒男、清水堪蔵、阿部雅信、清水光一、網野俊和、久世英隆、佐野武司 中段左から:藤田泰次、木村一哉、窪田健一 前列左から:奥山幸生、関口輝男、鶴岡徹雄、荻原真、森下克司、井坂紀之(JMU) (敬称略)

カーボンニュートラルは船舶業界も例外ではなく、2050年までにCO₂排出量ゼロを目

標に掲げ水素を燃料とした研究開発がなされているとのことである。

日本の製造業、建設業は厳しい状況にあるが、かつて世界一だった造船業界はさらに厳しいとのことであった。昨今の評価基準は数字と合理性であるが、表に出てこないきめの細かさや耐久性などの品質が注目されることを願っている。

個人では行けない見学会で、遠方の東京から久世さん、横浜から阿部雅信さん、小田原から倉林さんに参加して頂いた。三重支部の若手の小暮さんも参加して頂いたのは収穫であった。名古屋駅近くには予定時間の16:30に戻れた。

倉林さん含む5名は名古屋駅近くで懇親会を開催して、見学会の感想等を歓談した。
(記 52E 奥山)

以上